

## 令和3年度第1回富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議

日 時： 令和3年11月17日（水）10:00～11:30

場 所： 富山県民会館 8階バンケットホール

説明事項：（1）令和3年度 富山県中小企業振興施策（実施状況）について  
（2）国の中小企業振興施策等について  
（中部経済産業局、富山労働局）

### 委員からの主な意見（要旨）

- ・ 事業者への支援はきめ細かく予算はついているが、発信力が今後の課題。
- ・ きめ細やかな支援策があるが、みんなが理解するためにも、いちど整理されたほうが、使う方も使いやすくなるのではないか。
- ・ 夏ごろから電子部品、半導体だけでなく、コネクタ等も入手できなくなっている。こうしたコロナの影響は、あと1年くらい続くという観点で、いろいろな施策を考えていただきたい。
- ・ 大企業では働き方改革が進んでいるが、中小企業や下請け企業では短納期を迫られるなど、しわ寄せが生じていると思っているので、業界全体で働き方改革を実践できるように協力をお願いしたい。
- ・ コロナ禍で事業者は借入れを行っているが、これから返済が始まる。ソフトランディングできるよう返済の猶予が必要。
- ・ 補助金を受け取った会社の法人番号を活用して、同社は人件費がきちんと維持されてる、利益が向上してる等の政策効果を調査し、数字で見えるようにしたらいかか。せっかくやったのであれば、これだけ効果もあって国のGDPも増えているんだと実感できるようなもの。
- ・ 伝統工芸品などは、富山県の知名度を向上させていくことが必要。そのためには県のブランド化を進めるべき。
- ・ 若年層へのワクチン接種を率先して推進してほしい。その代わりに、副反応が起こったときは万全の対策を取ると、一言付け加えていただきたい。ワクチンを打てない人は、周りの人がその感染を防ぐというというような理論をもって進めていただきたい。
- ・ DXについては、行政の方でDX化を進めていただき、いろいろな形での利便性を高めていただいたうえで中小企業にも進めていただきたい。データの活用も重要で、県でもデータを自由にダウンロードできるようにしたらどうか。データが流通することで、若者などから新しいアイデアが生まれる。
- ・ コロナの影響も落ち着いてきて、製造業では人手不足の状況になっている。今後DXのメリットが一層出て来るとしている。それを支援する中小企業

のリバイバル補助金やミニリバイバル補助金は、予算規模も大きく、申請件数も多く、画期的と考えている。ただ、なかなか中小企業では、DXやIoTに対して遅れが生じている企業もあるかと思うので、企業へ技術者を派遣したり、利便性を体験してもらうような手厚い支援をいただきたい。

- ・これからカーボンニュートラルがかなり重要になる。十分な対策をとらないと、例えば輸出や取引が難しくなるとか、対策についてのコストが収益を圧迫するというような話も伺っており、具体的な知恵の部分での支援というのは、デジタル化と同様にこれから求められていく。県をあげて、こういった形ですべての産業でCO<sub>2</sub>を削減したのかということを確認にできるような、そういった仕組みをお願いしたい。